

夢限

常に、
挑戦者で
あれ!!

3学年通信
第3号

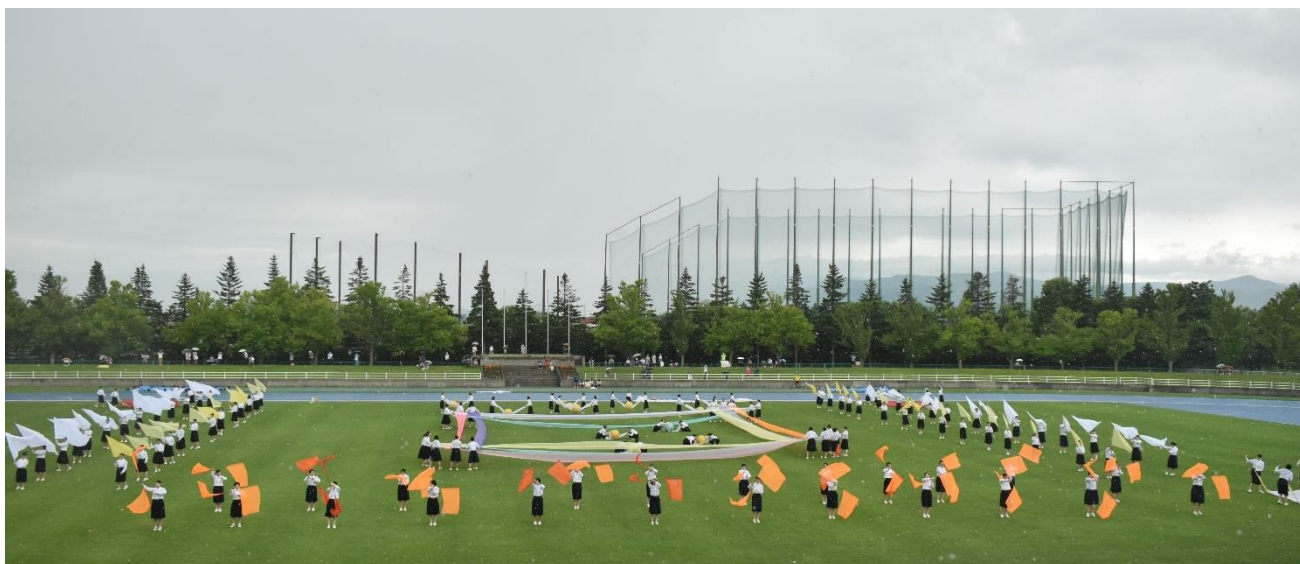
令和4年7月21日発行



↓ 学期の成績と定例テストの結果を同封しています。ご確認ください。

■□運動会□■

朝、前日の雨が嘘のように晴れ渡り、生徒も意気揚々と運動会をスタートさせました。100メートル走や長縄跳びなど、元気にはつらつと競技に取り組んでいる姿を見て、運動会が実施できて本当に良かったと思いました。しかし天気の様子は甘くはなかったです…。ちょうど3学年のマスゲームのスタートと同時に土砂降りの雨☔その雨の中も集中して最後までやり切る姿に感動を覚えました。毎年素晴らしいマスゲームですが、今年は特に凛とした美しさを見せてもらいました。



男子の集団行動は2クラスごとにグループとなり、工夫を凝らしたものでした。女子のマスゲーム中は裏方として支え、自分たちの出番には元気よく揃った演技で後輩たちを魅了していました。



↓ 各クラスの学級旗です。3年目の貫禄があり力作ぞろいでした!!



■□文化祭□■



14日、市民会館にてオープニングセレモニーが行われ、華やかに中央祭が始まりました。3年生の生徒にとっては、初めて全学年一緒に市民会館でオープニングセレモニーを行うことができました。何度も我慢したり悔しい思いをしたりしてきた分、これまでの思いや練習の成果をすべて出し切った素晴らしいステージになったと思います。雨に振り回されるところはありましたが、2日間の模擬店は怪我や事故もなく終えることができました。どのクラスも楽しそうに調理や接客をしていました。この3年間、こうして一つ一つの行事ができることのありがたさをかみしめる日々でした。さまざまな思いを抱えながらも、きっと生徒の記憶に残る文化祭になったと思います。ご来場頂いた保護者の皆さま、ご協力頂いた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。



◆◆主任所感◆◆

中央高校の1学期は毎年猛スピードで駆け抜けていく感があるが、今年はまた格別だった。日本国内や世界に目を移しても「3年ぶりの開催」等が増えている。全てを中止にした1年目、選択制で実施した2年目、そして「正しく恐れる」3年目。そんな中を令和2年度入学生は3年間駆け抜けている。毎年の「恒例」が「異例」となり、さまざまな伝承が滞る中、手探りで「新しい方法」が日々生まれている。行事も、てるてる坊主や多くの人々の願いが通じて実施可能な中でのベストを尽くしながら前進した。雨にもめげずの運動会、全校生徒による野球応援、来客を迎えての中央祭。3年目にして初めてのこともしなやかに受け止めながら日々『自走』しつつある姿に感服する。

一方で、授業中の風景にも大きな変化があった。タブレットが導入され、一人一台となり、今や自宅に持ち帰ることもできる。暑すぎて授業や講習の打ち切り、冷房のある施設を借りて移動しながら酷暑の講習を行っていたことを考えると、教室に冷房設備が整った今年はなんと過ごしやすいのだろう。環境は整いつつある。身の回りにあるさまざまな「不便」や「理不尽」を理由に逃げ腰になるのではなく、今すべきことに集中するしかない。『本番で闘うための基礎定着』こそが、この夏に与えられている使命だ。「中央生は本番当日のその瞬間まで伸び続ける」のだから。